



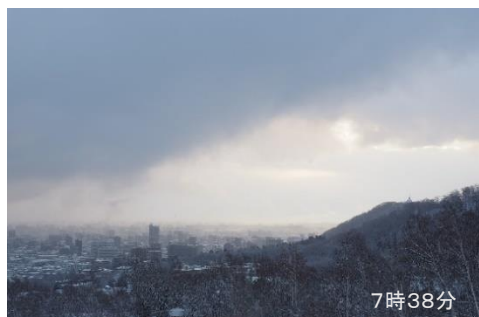
## 2023(令和5)年元旦、初日の出は見られた？ 見られなかった？



7時6分、初日の出時刻



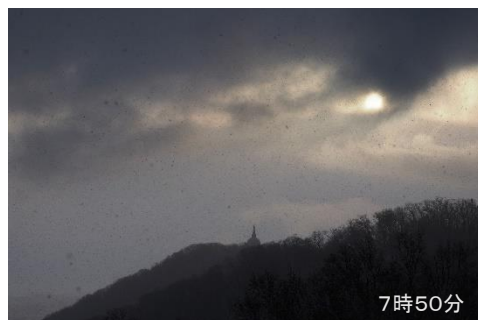
7時36分



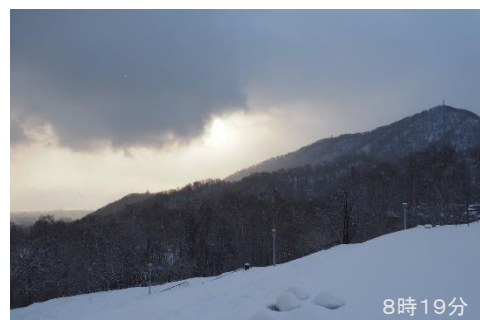
7時38分



7時45分、太陽が見えた



7時50分



8時19分

2023(令和5)年元旦の様子です。  
午前5時、旭山記念公園は通常より1時間早く駐車場開門。  
6時頃には雪が舞い、空は雲に覆われ星も見えない。  
7時には展望台周辺に約300人が集まり初日の出を待っていました。  
7時6分、日の出時刻、しかし相変わらず空は雲に覆われ、雲がオレンジ色に染まることもなく、初日の出を拝むことはできませんでした。  
7時10分には既に帰る人の流れができて駐車場が混雑していましたが、一方でまだ残る人や新たに来る人もちらほらと。  
7時半過ぎ、雲の薄い部分がオレンジ色に輝き始め、もしや太陽が見えるかもしれないと期待。  
そして7時45分、少しでも雲が切れたところから太陽が見えました！  
展望台にいる若者から「これって初日の出なの？」「違うんじゃない」という声も聞こえてきました。  
「日の出」とは「太陽が地平線や水平線の上に出ること」。  
今年の元旦初日の出時刻は空が雲で覆われ、厳密には「初日の出」を見ることはできませんでした。  
しかし、少し昇った後の雲の切れ間からとはいえ、今年初めて太陽が昇る様子を見られたという意味では、「初日の出」は見られたといっているのかもしれませんが。  
また、「初日の出が見られた！」と考える「ポジティブ志向」も、それはそれで良いのではないのでしょうか。  
そんな2023(令和5)年元旦の朝の様子を、ここでは5枚の写真で時間を追ってみましたのでご覧ください。

## スノーシュー無料貸出し今年も行っています

スノーシュー無料貸出、今年も始めました。  
森の家開館日の金、土、日、祝日10時から15時まで、森の家にて受付しています。サイズは、キッズ、M、L、LLと4種類あります。  
初めての方でもご安心、履き方やちょっとしたコツをお伝えします。  
旭山記念公園と旭山都市環境林内であればどこを歩いても大丈夫。  
場所についてやその他詳細は森の家スタッフにおたずねください。  
また、「スノーシュー自然観察会」も、1月から3月まで毎月2回行います。  
1月分は受付を締め切りましたが、2月3月の分は今後募集開始となりますので、ホームページや掲示板にてご確認ください。



レストハウス「ぽるく」 現在はお休み中、4月オープン予定です。

## 旭山野鳥メモ④⑤ムクドリ

ムクドリ White-Cheeked Starling *Spodiopsar cineraceus* スズメ目ムクドリ科

古い図鑑に北海道では夏鳥と記されるも現在は一年中見られる。

旭山ではしかし冬に稀に現れるだけでしかも住宅街に近い場所に来るのみ。農耕地や市街地、河川敷に多く、森林には住まない鳥なのだろう。市中心部や中島公園では見られるが、だいたい西20丁目通りの辺りから西＝旭山側に来るとほぼ見られなくなる。

日本人にはなじみ深い鳥で、野鳥の大きさの指標に用いられる。指標種は小さい方から、スズメ→ムクドリ→ハト→カラス、となる。

何百何千時には何万羽の集団でねぐらを取り、大通公園2丁目の「ミュンヘンクリスマス市」会場そばにねぐらの木があったこともある。

しかし住宅地に近い場所では糞や「キュルキュルー」という鳴き声などで害鳥扱いされることもあり、対策に頭を悩ませる自治体も全国に数多い。一方で害虫を食べるので農家にとっては益鳥でもある。

顔の白い部分に入る黒い斑には個体差があり、その気になれば個体識別ができそう(誰もやらないだろうけど...) それにしてもおなじみなのに旭山で見られないのが不思議といえば不思議な野鳥だ。



## 2023年1月の野鳥トピックス

- ・ミヤマホオジロ(右写真): 12月中旬森の家の周りに頻繁に現れました
- ・ヒレンジャク、キレンジャク: あまり見られなくなってきました
- ・マミチャジナイ: 1月にツグミの群れに混じって1羽観察されました
- ・ツグミ: 学びの森付近のアズキナシの実を食べによく来ています
- ・カケス(亜種ミヤマカケス): 園内でほぼ毎日見られています
- ・キクイタダキ: 針葉樹で見られる機会があります
- ・クマゲラ、ヤマゲラ: 園内で見られる機会が増えました
- ・ハシブトガラ、ヒガラ: 12月に初鳴きが聞かれました
- ・シマエナガ: 森の家の周りで日により見られたり見られなかったりですがそろそろ見られる機会が増えそう



## 卯年に旭山でウサギは見られるか？

今年は卯年、うさぎ年。

日本には4種のウサギが生息、うち北海道で見られるのはエゾユキウサギ(写真右上)と、高山帯の岩場で見られるエゾナキウサギ(写真右中)の2種です。

その他2種はニホンウサギと特別天然記念物アマミノクロウサギ。

また、欧州からアフリカ北部原産のアナウサギを改良したカイウサギ(イエウサギ)が野生化している場所もあり、今は無人島となっている北海道南西沖の渡島大島ではかつて島民が持ち込んだカイウサギが大繁殖し生態系を荒らしているという報告もあります。

さて、エゾユキウサギ、旭山でも見られる？

答えはイエスでありノーであり...冬になるとたまに雪の上に足跡(写真右下)が残っていることがありますが、姿を見たという話は聞いたことがありません。

エゾユキウサギは夜行性で用心深く、昼間に姿を現すことはめったにない。では夜に粘れば見られるかといえばそれも難しく、夜の動物調査のために設置したセンサーカメラにも写っていたことはありません。

そもそもエゾユキウサギは、森林ではなく開けた場所で生活する動物であるため、旭山周辺にはいたとしても個体数が少ないと考えられます。

ともあれ、うさぎ年の今年、旭山でウサギが見られるといいのですが。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第109号 2023(令和5)年1月9日発行

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311(金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351